

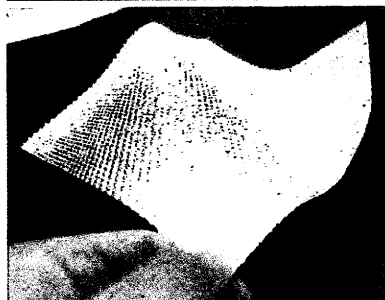
高断熱・耐熱性を実現

フレキシブルシート車以外にも照準

オーツカ

オーツカ（東京都品川区、大塚宏社長、03・3472・1201）は、断熱・耐熱・保温性に優れ、自由自在に曲がるフレキシブルシート「シートフレックス」を開発し、10月中旬に発売する。耐熱温度は200度〜650度Cで自動車のエンジン回りなどでの利用を想定する。鉄道車両や建設機械など自動車以外での用途も見込む。1年間で5000万円の売り上げをを目指す。

オーツカは、主に自熱用途にフレキシブル自動車のエンジン回りやチューブ「オーフレックス」排気管などの断熱・耐熱用途にフレキシブルシート「シートフレックス」を販売



フレキシブルシートは同チューブの技術を応用した。同社によると断熱・耐熱性に優れた薄手のフレキシブルシートは国内初だという。自由自在に曲がる特性を生かし、チューブで対応できなかった自由自在に曲がる「シートフレックス」

している。チューブにワイヤハーネスや各種ケーブルなどを収めて使用する。新開発のシートは同チューブの技術を応用した。同社によると断熱・耐熱性に優れた薄手のフレキシブルシートは国内初だという。自由自在に曲がる特性を生かし、チューブで対応できなかった自由自在に曲がる「シートフレックス」

自動車の耐熱・断熱が必須な部分での使用を見込む。

シートは耐熱温度650度Cまで対応できるステンレス製のシートや、アルミニウムと耐熱紙を積層したシートなど、用途に応じて5種類そろえた。サイズは長さ100センチ幅22センチ、厚さは約0.7ミリ6センチ。価格は標準品で1シート当たり3000円前後を想定する。顧客の要求に合わせた素材構成や形状での納入もオプションで対応する。自動車以外で断熱・耐熱需要がある分野での採用も目指す。

同社は売り上げの6割を自動車部品関連が占める。うち2割を売り上げるフレキシブル

チューブは主にエンジン熱源とする部位の断熱・耐熱用途で、国内全自動車メーカーやティア1メーカーなどに納入している。たの開発に取り組んだ。

標準品で1シート当たり3000円前後を想定する。顧客の要求に合わせた素材構成や形状での納入もオプションで対応する。自動車以外で断熱・耐熱需要がある分野での採用も目指す。

同社は売り上げの6割を自動車部品関連が占める。うち2割を売り上げるフレキシブル